

自然豊かな平石で本物の 伝統文化を伝える

さくらみなみ保育園

自然豊かな平石で子どもたちを育てたい【田植え】

2006年6月に開園したさくらみなみ保育園。建設当時、子どもたちを育てるなら田んぼや畑、野山がすぐ近くにあることを目指して土地を選定しました。畑での野菜作り、田植え、稲刈りなど地域の農業に関わる方々の協力を得ながら子どもたちの活動を進めてきました。

5月に地域の方に教わりながら、自分たちの手で“天のつぶ”の苗を植えました。泥だらけになりながら楽しんで取り組み、秋の収穫を心待ちにしていました。



自然の恵みを体験させたい【稲刈り】

5月に植えた苗が、目の前の田んぼで半年かけて育つ様子を、子どもたちは毎日目にしてきました。黄金色になった稲を自分たちで収穫しました。釜の扱い方を教わりながら、「この“かま”ほんものなの?」「むずかしいけど、だんだんうまくなってきた」「こし、いたくなるね」と、米作りの苦労や難しさを初めて感じながら、たくさん収穫できた喜びを味わいました。収穫したお米は、早速自分たちで米研ぎをし、毎日の給食の中でおいしくいただきました。



野菜を育てて食べる実体験を 【栽培・クッキング活動】

野菜の収穫

目の前に広がる大きな畑には、毎年たくさんのお作物が実ります。タネをまき、苗を植え、水やりや草むしりをしながら、大事に育てました。野菜が育つ過程を目の当たりにし、身近な野菜がどんな風にして育つのかを実体験の中で知っていました。



クッキング活動

収穫した野菜を、どんな調理をするか相談しました。自分たちで作ったものの味は格別で、食も進みました。



日本の伝統文化を基本に展開される保育【民舞】

太鼓・民舞・わらべうたが保育方針のひとつにあげられており、さくらみなみ保育園では、民舞【荒馬】に取り組んでいます。姉妹園のさくら保育園と交流し、互いの荒馬を見せ合いながら、切磋琢磨して踊りを発展させてきました。

姉妹園との荒馬交流



民族歌舞団【ほうねん座】 公演親子鑑賞・ワークショップ

親子でほうねん座公演鑑賞

本物の迫力に歓声が上がり、自分たちもやってみたいという意欲にも繋がりました。



ワークショップ

踊りやステップのポイントを指導してもらい、より踊りを発展させていきました。



【わらべうた研修】

わらべうた講習会

保育の柱のひとつとなっているのが、わらべうたです。乳児は保育士と目を合わせ、触れ合いながら安心して歌に耳を傾けます。幼児期になると、友だちと一緒に歌ったり、聞く力も育ててきました。

保育士は、毎月わらべうたの勉強会を行なっています。新しい職員が入職した事もあり、講師を迎え改めてわらべうたの成り立ちから学び、保育の中に生かせるように取り組んできました。

